

# 中学「統一テスト」 府教委 大教組へ回答 実施強制する法的根拠なし

## 大教組の質問に対して、府教委が回答した5点にわたる事項

中学「統一テスト」は生徒の学習状況の把握するための「調査」であり、各市町村教育委員会や各中学校に対して実施を強制する法的根拠をもたない。「統一テスト」の参加主体は各市町村教育委員会である。「統一テスト」に参加するか否かは各市町村教育委員会の判断であり、強制されることはない。

「統一テスト」に参加しない市町村教育委員会では、「統一ル・ル」は適応外となり、参加しない市町村の各中学校調査書評定を強制的に是正させることはない。「統一ル・ル」はまた、中学1年生・2年生の調査書評定に適応されるが、「統一ル・ル」に基づいて、各中学校調査書評定が是正されたか否かを具体的に検証することはおこなわない。また検証そのものは不可能である。

新中学3年の「統一テスト」が修学旅行や学校行事と重なった場合、各学校行事が優先され、再度の「統一テスト」は実施しない。「統一テスト」を実施できなかった中学校の「評定範囲」は市町村教委や学校とよく相談して、類似のテスト等を参照して範囲を作成する。

中学「統一テスト」結果を生徒の序列化や学校の序列化に利用することはしないし、生徒の成績評定に利用することは決しておこなわない。中学校が「統一テスト」の点数のみで評定を作成した場合は、「統一テスト」の実施目的に反するので厳しく指導する。

## 地教委は不参加表明を

1月13日、中学1・2年生に実施され、中学3年生には6月23日に実施予定の「統一テスト」（チャレンジテスト）について、大阪府教育委員会は、大阪教職員組合の質問に対して左記のように回答しました。

子どもたちに競争を強いる「統一テスト」

各地教委は、「統一テスト」の中止・撤回を府教委に迫るとともに、6月実施予定の中

3「統一テスト」には、不参加を表明すべきです。かつて、橋下知事時代に府教委が行った「府学力調査」に、和泉市、高石市は学校序列化につながるとして参加しませんでした。今回も各地教委はその良識を発揮すべきです。

泉北教組に加入して子どもと教育をを守ろう！